**平成の大修理**

**半世紀の消耗の入れ替え**

1964年の昭和の大修理から数十年が経ち、太陽や雨風が城に大きな悪影響を与えた。真っ白な漆喰の外観は50年ごとに塗り替えられるべきであるため、天守閣の全面的な修復が2009年から2015年にかけて行われた。先の大修理の時のような天守閣の解体は行われなかったが、平成の修復はやはり大きな事業だった。5年以上にわたる期間に、職人は屋根瓦を取り替え、壁を修復し、地震に備えて建物を補強した。訪問者には進行中の作業を見ることができる屋根のついた足場へ行けるようにされた。

**平成の大修復に関する年表**

2009年10月　備前丸の現場調査

2009年12月　喜斎門の仮の橋完成

2010年3月　物資運搬の架台完成

2011年3月　屋根付きの足場完成　一般人の見学場所開かれる　本丸の屋根，外壁，他の特色の正確な寸法を得るための調査が始まる。

2012年11月　屋根瓦の取り替え完成

2013年11月　壁の漆喰塗装と屋根の接合完成

2014年1月　構造上の補強作業完了　見学場所閉鎖

2014年10月　足場解体、撤去

2014年12月　運搬用架台撤去

2015年2月　喜斎門の仮の橋撤去

2015年3月　事業完了

足場

重さを軽減するための箱形の腕木

寸法：東西47メートル；南北45メートル

高さ：53メートル(8階建てのビルに相当)

総床面積：約 8,300平方メートル

材料の配達

機械類と材料は配達用ガントリー装置で備前丸に運ばれた

ガントリー装置の高さ：およそ38メートル

ガントリー装置の長さ：およそ66メートル

建設作業

屋根瓦取り替えと壁の修理

取り替えられた屋根瓦部分の面積：2,060平方メートル

塗り替えられた漆喰部分（屋根瓦の接着部分を含む）の面積：7,800平方メートル

改良された耐震性を持つ建物の補強

期間：5年4ヶ月(2009年11月より2015年3月)